



各広域振興局の担当区域

盛岡広域振興局	盛岡市/八幡平市/滝沢市/雫石町/葛巻町/岩手町/紫波町/矢巾町 (3市5町)
県南広域振興局	花巻市/北上市/遠野市/一関市/奥州市/西和賀町/金ヶ崎町/平泉町 (5市3町)
沿岸広域振興局	宮古市/大船渡市/陸前高田市/釜石市/住田町/大槌町/山田町/岩泉町/田野畑村 (4市4町1村)
県北広域振興局	久慈市/洋野町/野田村/普代村/二戸市/軽米町/九戸村/一戸町 (2市3町3村)

4 広域振興局からのお知らせ

広域振興局とは、地域振興、産業振興、保健福祉など、広域的な課題に取り組む岩手県庁の総合出先機関です。県内にはエリア(広域振興圏)ごとに、「盛岡広域振興局」「県南広域振興局」「沿岸広域振興局」「県北広域振興局」の4つの広域振興局が設置されています。この4つの広域振興局から折々のお知らせをお届けします。

二戸地域のブランド果物はこれからが旬！
見た目も味も逸品ぞろい。
動画とともに旬の果実を味わって！

県北
エリア



二戸地域は、雨が少なく一日の寒暖差が大きいことから、さくらんぼ、ブルーベリー、りんごなど、季節を通じておいしく高品質な果物が実るフルーツの里です。県では、生産者組織や地域と一体となって、地域産ブランド果物のPRや、園地での収穫体験などにより、フルーツの里二戸地域に来てもらう取り組みを進めています。その一環として、二戸地域と果物の紹介動画「北いわてフルーツの里カシオペア連邦」を作成しました。PRソング「ふるふるフルーツ♪」(作詞作曲/アンダーパス!)に合わせて、栽培の様子や地域の風景、生産者や地域の方々の笑顔とおいしい果物を紹介していますので、ぜひご覧ください。

二戸地域の果物はこれからが旬！7月上旬頃には、さくらんぼ「佐藤錦」の中から、大粒で色が濃く、糖度の高いものを厳選した「夏恋(かれん)」が店頭



「夏恋」は二戸地域が主な産地

に並びます。ほかにも、夏にはブルーベリー「カシオペアブルー」、秋には赤いりんご「カシオペア・クイーンサンふじ」、冬には黄色いりんご「冬恋(ふゆこい)」など厳選されたトップレベルのブランド果物があり、贈答用にもおすすめです。ぜひご賞味ください。



いわてブランド果物きょうだい さくらちゃん・ブルーくん・冬恋ちゃん・ふじのちゃん (YouTubeでご覧ください)



北いわてフルーツの里カシオペア連邦 (YouTube) <https://www.youtube.com/watch?v=1PmYn1cARxM>



県北広域振興局 QRコード

釜石の新名物「うにしゃぶ」試作品が完成。
今後は、市内飲食店での提供やふるさと納税の返礼品を目指す！

沿岸
エリア



釜石の新名物として、新たなメニュー「うにしゃぶ」の試作品が完成し、具体的な提供方法について検討が始まっています。「うにしゃぶ」とは、貝でとった出汁にウニを加え、クリームで味を調えたスープに、三陸の新鮮な白身魚や野菜をぐらして食べる洋風鍋料理。釜石の観光まちづくり会社「かまいしDMC」と地元の食品加工会社が共同で開発し、3月末に市内の飲食店関係者などを招いた試食会が行われました。



クリーミーなスープはそのままでもじゅうぶんおいしく、魚や野菜のうまみでさらに深い味わい。「濃厚ながら味の麺まで飽きずに食べられる」「ウニが苦手な人でもこれなら大丈夫」と試食会では好評でした。

観光客の少ない冬場に料理で地域を盛り上げようと開発されたのが、この「うにしゃぶ」。

今後は、共通のスープを釜石市内の飲食店に提供し、それぞれの店がアレンジして観光客に楽しんでもらうことや、魚介などの具材とセットにし、ふるさと納税の返礼品にすることなどが検討されています。

「意外と何にでも合うので使いやすいと思いますよ」という飲食店経営者のお墨付きももらった「うにしゃぶ」のスープ。市内の飲食店で味わえる日が来るのが楽しみです。



沿岸広域振興局 QRコード

6月29日は「平泉世界遺産の日」。来年は世界遺産登録10周年を迎え、新たなガイダンス施設もオープン予定！

県南
エリア



古都・平泉。平安時代後期に奥州藤原氏は、平和への願いを込め、浄土思想に基づく仏国土(浄土)の実現を目指しました。その平泉の文化遺産が世界遺産に登録されたのは、2011年6月29日。平泉の文化遺産をみんなで未来に継承するとともに、遺産を活用した地域振興を行うため、県は「平泉世界遺産の日条例」を制定し、6月29日を「平泉世界遺産の日」と決めました。

この世界遺産を県内外にアピールするため、県南広域振興局の若手職員が「チームケロ平(けろひら)」を結成してPR活動を行ってきました。「ケロ平」は、約800年の時を超えて柳之御所遺跡から発見された板画「平泉のカエル戯画」をモチーフにしたキャラクター。平安時代のカエルが表情豊かに平泉の魅力を伝えています。



©2013岩手県 ケロ平

ほかにも知事や職員が学校に出向いて行う「世界遺産出前授業」、SNSやイベントなどを通じた情報発信などを行っています。

今年新たな取り組みとして『ドラゴン桜』でおなじみの漫画家、北上市出身の三田紀房さんによるポスターも制作中です。



2021年は、世界遺産登録10周年を迎える記念すべき年。平泉の文化遺産を総合的に知ることができ、ガイダンス施設のオープンなども予定され、世界遺産の価値の理解を深める絶好の機会となりそうです。



県南広域振興局 QRコード

もうすぐ完成 築川ダム。ドローンで撮影した工事現場の写真を県ホームページで公開中！

盛岡
エリア



築川(やながわ)ダムは、北上川水系築川の盛岡市川目地区に建設を進めている10番目の県営ダムです。洪水調節、河川環境の保全、水道用水の確保、水力発電を行う多目的ダムです。



築川ダム			
型式	重力式コンクリートダム	長さ	242.7メートル(開運橋の約3倍)
高さ	77.2メートル(県庁の高さの約1.3倍)	総貯水容量	1,910万立方メートル(県営ダム1位! 県庁約230杯分)

2014年12月に始まった築川ダム本体の工事は、2021年3月の完成を目指して、現在最終段階。ダムの最高水位まで水を溜めてから流下させ、安全性を確認する試験を今年の秋から行います。ダム最上部にある非常用の放水口から水が流れ出る様子は、とても珍しい光景となるでしょう。

現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、工事現場の見学会や建設事務所内の広報コーナーは休止中。見学の再開は県ホームページでご案内します。なお、県ホームページでは、2015年度から最新の状況までドローンで撮影したダム工事現場の写真を公開中。着々と進む工事の様子をぜひご覧ください。

■問い合わせ/築川ダム建設事務所 019-652-8821

岩手県 やながわダム



盛岡広域振興局 QRコード